

佐那河内村役場所蔵 山根玉峰先生作品一覧

作品名	寸法	作品名	寸法
学道	52 × 225	郷魂夜対家	136 × 34.5
心に太陽	49 × 218	庭前千載松	68 × 34.5
隆盛	35 × 68	心に響く思いやり	52 × 224.5
道	40.5 × 48	我道一以発之	139 × 34.5
幽妙	91 × 52	祇園精舎鐘聲	275 × 69 × 2
故郷何處	231 × 51.5	山呼萬歳聲	135 × 34.5 × 2
人愛則道学	136 × 34.5	黙識	87 × 240.5
創造	34.5 × 68	萬花驚蝶夢	149.5 × 47.5 × 2
花吹雪	136 × 34.5	萬国歎	88 × 52
激瀾	91 × 151 × 2	盛徳	44.5 × 37
故郷敬遥懐	271 × 69 × 2	我人逢	88 × 52
茶寿	124.5 × 52	煌	52 × 44.5
福	70 × 70	坐到酒桜前	57.5 × 52
瑞雲龍	136 × 34.5	随處楽	33.5 × 130
海 荒海や佐渡に横たう天の川	226.5 × 52	羊剣	92 × 91.5



佐那河内村役場庁舎前の山根玉峰先生胸像

資料提供・協力(団体・個人 敬称略)
玉峰会、山根孝一、浜野政子

名誉村民・山根玉峰先生
生誕百周年記念作品展

編集・発行 佐那河内村企画政策課

〒771-4195 徳島県名東郡佐那河内村下字西ノハナ31番地
TEL:088-679-2973 FAX:088-679-2125 E-mail:kikaku@sanagochi.i-tokushima.jp

令和6年8月5日 発行

生誕百周年

記念作品展

入場無料

令和6年
8/5・30 (月) (金)

9:00~17:00 (土日祝も開館)

佐那河内村役場
村民ホール

お問い合わせ
■佐那河内村企画政策課
〒771-4195
徳島県名東郡佐那河内村下字西ノハナ31番地
TEL:088-679-2973 FAX:088-679-2125
<https://www.vill.sanagochi.lg.jp>



我道一以発之

山根玉峰
先生

名誉村民



米国リンカーン記念
平和勲章授賞時

ごあいさつ

佐那河内村上字牛木屋ご出身の書家で名誉村民の山根玉峰先生は、大正13年(1924)にお生まれになりましたので、今年が生誕百年の節目の年にあたります。そこで、この度「名誉村民・山根玉峰先生 生誕百周年記念作品展」を開催することといたしました。

山根先生からご寄贈いただきました作品を村民のみなさまにご披露させていただき意図をもって、昨年度に作品展「一」から見出した書の魅力」を実施いたしましたが、今年は生誕百周年を記念するとともに、昨年度ご披露できなかった作品群について公開することも目的の一つとしております。先生には、生前に佐那河内小中学校での書道教室をはじめ、村内各所で健筆を揮っていただきました。今回の展示会を通じまして、みなさまには山根先生との交わったそのような思い出を想起していただけたらありがたく存じます。

さて、山根先生は8歳で佐那河内村を離れ、兵庫県で過ごされることとなりましたが、佐那河内村をこよなく愛され、令和3年7月16日にご逝去されるまで、村政に多大な貢献をいただきました。あらためて感謝申し上げますとともに、山根玉峰作品をより一層多くのみなさまに鑑賞していただけますよう「デジタルアーカイブ化」にも取り組んでまいります。

末尾ながら、この度の作品展にご協力いただきました山根孝一様、玉峰会のみなさまをはじめ、関係者のみなさまに御礼申し上げまして、開催のあいさつといたします。

令和6年8月5日

佐那河内村長 岩城 福治

生誕百周年 記念作品展

山根玉峰 (義雄)

大正13年(1924)9月30日生まれ。佐那河内村上字牛木屋出身。宮前尋常小学校(現・佐那河内小学校)に入学。在校中に梶本実五郎校長に書の指導を受けた。梶本校長は、毎日「一」ばかり書かせ、「一」こそものの始まりであり、これをおろそかにしてはいけない」と指導したという。その後、8歳で神戸市に転居、後に加古川市に移る。

墨滴会を主宰し、日展内閣総理大臣賞などの受賞歴をもつ広津雲仙(1910-1989)に師事する。自らも玉峰会を主宰し、日展会友、墨滴会顧問、日本書芸院参与を務める傍ら、中国やヨーロッパなどで国際親善に取り組み、日中国交回復15周年記念式典への出席や日中文化交流書道展への出品、さらには毎日展書道、パル芸術祭などにも出展している。

読売新聞大賞受賞、日展入選24回、文部大臣賞(第23回全国墨滴展出品作)などを受賞、米国リンカーン記念平和勲章も受けた。佐那河内村では、小中学校で書道教室を開催したほか、村内各所に設置された記念碑に揮毫するなど、本村に多大な貢献をした。平成22年(2010)7月15日に名誉村民第一号の称号を授与される。

令和3年(2021)7月16日逝去。

佐那河内村内に残る山根玉峰先生の筆跡



筆塚(朝宮神社)



新農業構造改善事業記念碑
(佐那河内村農業総合振興センター前)



敬愛(佐那河内小中学校)



鳥獣慰霊碑(大川原高原)



新府能トンネル銘板

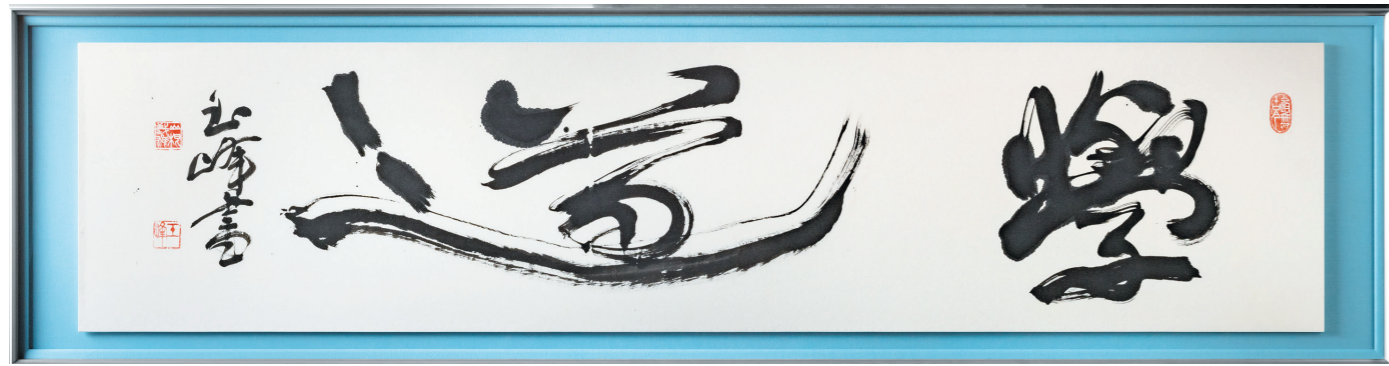


嵯峨天一神社拝殿内



天岩戸別神社由緒書

主な展示作品



学道



心に太陽



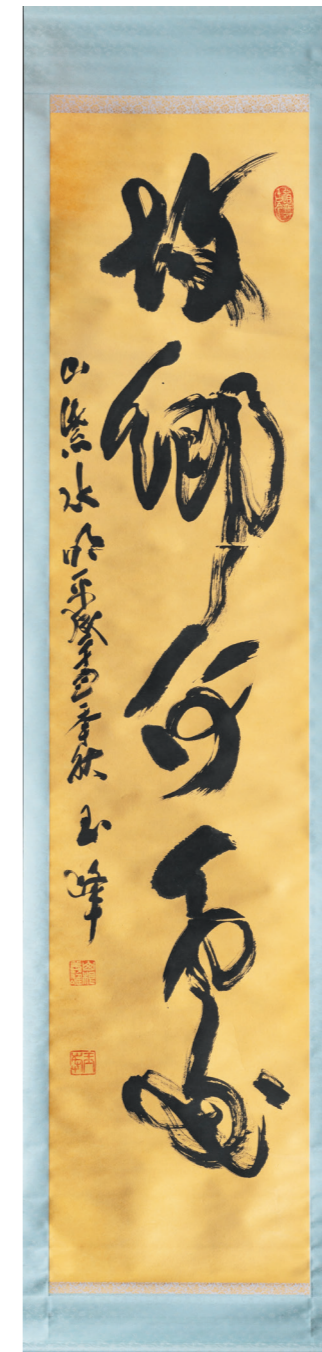
隆盛



道



海 荒海や
佐渡に横たふ
天の川



故郷何處



幽妙



創造

山根先生 ありし日の一コマと思い出

父が母のところに旅立って三年経ちますが、
今だにそばにいるような気がしています。
若い頃から書一筋だったので、あまり思い出はないのですが、
晩年、いろんな所に行く機会が増え、話しをする事が増えました。
なかでも佐那河内村にはよく行きましたが、いつも笑顔で楽しそうでした。
自然にふれおいしい空気を吸って、
元気をもらって帰っていた事を思い出します。
父は、故郷をこよなく愛していたんだなと思います。
(山根孝一)



山根先生と巡りあえて、50年

ある時、「僕は何事があっても負けない。」と言われたことがありました。
小学校一年生の時、佐那河内村の校長先生との出会いから始まった書で
どんな苦難も、乗り越える事ができたと話され、
強さに裏打ちされた優しさを惜しみなく与えて下さいました。
最後のお稽古は、お亡くなりになる10日前でした。
百歳まで現役でがんばると言われていた先生。
「生誕百周年記念展」で先生のパワーを頂きに参ります。
(玉峰会 松尾美舟)



玉峰先生とのエピソード

先生と出会うきっかけになったのは、
お店の看板を書いて欲しいと
田中秀峰先生にお願いしたところ、
玉峰先生を紹介して下さいました。“一番いい字が書けたよ!”と
火輪の笑顔で言って下さいました。
先生の雰囲気と笑顔に魅了され、書道を習う事にしました。
字を書く度に褒めて下さり、
いつも感じよく穏やかで会える事が楽しみに変わっていきました。
(玉峰会 辻 玉穂)



山根玉峰先生との思い出

二十六才の時(現在八十一才)に
書道教室で習い始めやがて展覧会へ出品する様になりました。
有馬温泉の練成会に行く途中凍結に気付かず
スリップして両側の溝に何度も落ちそうになり
先生に怖い思いをさせていただきました。
夕食後は必ず喫茶店のソフトクリームを御馳走して下さいました。
本当に楽しく勉強させて頂き、
今更ながら先生の心の暖かさを痛感しています。
優しい優しい先生でした。
(玉峰会 小松玉観)



先生との日々を振り返りますと、
優しい笑顔と楽しいお話が思い出されます。
お稽古後駅までの道中、色々なお話をして下さいました。
子どもが教えて頂いた時、息子は先生の目の前の席、
娘は柱に隠れた席と性格の違う二人に
それぞれに合った言葉をかけて下さり、
成長してからも折に触れ「元気にしてる?」と気にかけて下さいました。
今でも家族で先生の話をすることがあります。
先生と出会えた事が宝物です。
(玉峰会 小林賀峰(姫路))

山根玉峰先生の書道教室に通い始めたのは昭和六十年です。
先生は読売新聞の推挙で岡山へ…。
新幹線を通っておられました。
教室での先生は書かれている姿勢も美しく書字そのものにも
いつも生徒たちの感嘆の声があがっておりました。
人柄とも相俟って一日の生徒さんが百人近い事もあったとか。
いろんな光景がなつかしく思い出されます。
先生の御指導は三十余年続きました。
おかげさまで私は今も書道を続けております。
感謝の気持ちでいっぱいです。
(玉峰会 神羽清泉(岡山))

